

# 県民の森 だより 11 2018 月号



すてきな巣箱が完成しました！（10/21）

**発行** 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801  
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41  
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料  
利用時間：4月～10月/9時～16時30分  
11月～3月/9時～16時

今月中旬過ぎまで紅葉の見ごろが続きます。音楽堂東側の紅葉から始まり、園内各所に進んでいます。隠れスポットは、青少年の森の1号展示館（江戸末期に建てられた古民家）2号展示館（明治時代の洋館）周辺のもみじの紅葉は、静かにじっくりとお楽しみいただけます。（所長：蜂谷仁）

## 閉園時間変更のお知らせ

11月1日～3月31日まで、閉館時間が30分繰り上がり16時となります。駐車場のご利用も16時までとなりますので、アスレチックをご利用の際など、お間違いのないようよろしくお願い致します。※常設クラフト体験コーナーの受付は15時30分までとなります。

## 県民の森・紅葉おすすめコース

園内紅葉おすすめコースは、まずは野外音楽堂沿いの遊歩道。中央記念館からほど近く、緑・黄色・オレンジ・赤と色とりどりに本当に素晴らしい彩りを見せてくれます（例年見ごろは11月初旬～中旬）。

「水辺の道」「もみじの道」「こもれびの道」は、少し遅れての見ごろとなり（例年11月中旬～下旬）、ゆっくりと散策を楽しみたい方におすすめです。



昨年の紅葉の様子（空の青もきれいですね）

### カエデ・モミジいろいろ

イタヤカエデ ウリハダカエデ



歯の淵が全縁 樹皮はウリの皮のよう  
(ざざざざがない)

ヒトツバカエデ ハウチワカエデ



葉に切れ込みがない 天狗のウチワの形の葉

イロハモミジ オオモミジ



紅葉はとても色鮮やか 日本海側を除き広く分布する

## 今月のけんみんのもり写真館 スタッフが見つけたしぜんのはなとこま



オトコヨウソメ（レンブクソウ科）  
男ようそめ

名前はガマズミ類をヨソソメと呼ぶ地方があります。ガマズミに比べ、痩せて食用にならないので、オトコ（男）を冠してつけられたとの説があります。葉も紅葉し赤い果実が僅かに残っていました。（駒野）



コマコムミ（ニシキギ科）  
小寅弓

ニシキギは枝にコルク質の翼が発達しますが、翼が無く小さい品種をコマコムミといいます。果実や紅葉が美しく、両方楽しめます。庭木としても親しまれています。（駒野）



サルトリイバラ（サルトリイバラ科）  
猿捕棘 別名カカラ

名前は猿捕りイバラからで、刺のあるつるにサルもひっかかるといいます。赤い液果がたわわに熟しています。根茎は薬用になります。俗称、サンキライ（山帰来）は中国原産の土茯苓（トブクリョウ）を指します。（駒野）



ミズキ（ミズキ科）水木

名前は水木の意味で、春先に枝を折ると水（樹液）が出ることに由来します。集散花序は“サンゴ”？のような、きれいな赤みを呈しています。写真は黒く熟した果実が少し残っています。果実の時期が終わると花序は落下します。材はこけしの原木に利用されています。（駒野）

## 県民の森名木紹介 vol.48 ラクウショウ

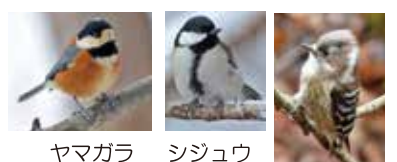


一番北側の菅野沢溜池の小川流入部に、杉に似た高木群があります。ラクウショウです。和名は沼杉と呼ばれるように、湿地を好む特徴があります。根本周囲に呼吸根を突出させ生育する戦略で湿地を克服。北アメリカ原産であり、勿論植えられたものですが、いずれも20m近い高木に成長し見事です。

これから黄葉から落葉へと進み、周囲の杉との違いが際立ちますのでご覧下さい。（工藤）



エナガ（エナガ科）  
留鳥 全長14cm



ヤマガラ シジウカラ コゲラ

エナガと混群を作る他の野鳥たち

ピンポン玉のようなかわいらしい見た目。尾羽の長さが全長の半分を占めます。とくにさえずりといえる声はなく、林の中を「ジュリリイ」「チリリリイ」という声で鳴きながら、10羽前後の群れを作って移動します。

冬が近づくとこの季節は、ヤマガラやシジウカラなどの「カラ類」と、エナガやコゲラなどの「混群」と言われる群れがよく見られます。違う種類が群れになることで、大勢で警戒できるので敵が見つかりやすい、えさが探しやすいなど、それぞれの鳥たちにとってたくさんの利点があります。（入岡）

イベントのスケジュールなどは裏面「11月・12月のイベント情報」をご覧ください